

電源開発株式会社

代表取締役社長 菅 野 等 様

要 望 書

令和7年10月

竹原商工会議所

竹原火力発電所3号機の休廃止に伴う地元対応に関する要望書

拝啓 貴社におかれましては、常日頃より地域経済・雇用の安定にご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、竹原火力発電所3号機の休廃止が検討されているとの報に接し、運転開始から40数年にわたり地域経済を支えていただいたことに改めて感謝申し上げますとともに、地域住民・関係事業者にとっても非常に大きな影響が懸念されております。

つきましては、以下の点について強く要望いたします。

【 要 望 事 項 】

1. 地域経済・雇用への影響を最小限に抑える対応の実施

竹原火力発電所関連の雇用・取引先への影響を軽減するため、地元雇用の維持・創出に配慮した対応をお願い申し上げます。

2. 跡地活用としての先進的設備の導入

3号機跡地には、高効率発電技術や再生可能エネルギーといった、次世代エネルギー技術の実証プラント等、先進的で大型の設備導入をご検討いただき、地域に新たな価値と雇用をもたらすような開発を強く要望いたします。

3. 地元企業との継続的な取引・連携機会の確保

設備更新や新規事業に際しては、地元企業の参画機会を最大限確保いただき、地域経済の活性化に寄与する仕組みの構築をお願いいたします。

4. 地域との対話と透明性のある情報提供の継続

地域住民・関係団体に対し、状況や見通しについて定期的な情報提供を行っていただき、信頼関係の維持・強化に努めていただくことを要

望いたします。

当商工会議所としまして、地元企業・住民の声を集約し、地域経済の持続的な発展に向けて貴社との連携を深めてまいりたいと存じます。

何卒、上記の点をご理解賜り、真摯なご対応をお願い申し上げます。

敬具

令和7年10月28日

竹原商工会議所

会 頭 山 本 静 司